京都芸術大学 大学院

芸術研究科（通信教育）芸術専攻 修士課程

学生募集要項 2026（2026年4月入学）

出願期間	合格発表日
Web出願手続 2026年1月14日（水）10:00～2月18日（水）17:00まで 書類の送付 2026年1月14日（水）～2月18日（水）必着	2026年3月10日（火）

出願を検討中の皆様へ －入学説明会への参加をおすすめします－

研究対象・分野と教員の指導におけるミスマッチを防ぐためにも、出願前に領域・分野別説明会に参加いただくことをおすすめしています。説明会に参加できない方に向けては、アーカイブ動画の配信も行います。日程・申し込み方法等の詳細は本学通信制大学院Webサイトで確認してください。

https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/

通信制大学院
Webサイト

京都芸術大学　大学院

芸術研究科（通信教育）芸術専攻 修士課程

KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS GRADUATE SCHOOL index

2026年度 学生募集要項

アドミッション・ポリシー……………… 2

募集概要……………… 2

1 名称
2 授与される学位
3 募集定員
4 出願期間
5 修業年限・在籍年限
6 出願資格

出願方法……………… 6

1 出願の流れ
2 併願
3 出願手続
4 出願に関する諸注意
5 合格発表日・入学手続金納付締切日
6 合格発表後の手続き

学費……………… 15

1 必要な費用
2 奨学金・助成金制度

学習環境・修了要件……………… 18

1 パソコン・アプリケーションソフト
2 学習形態
3 修了要件

学習方法・履修モデル……………… 26

1 学際デザイン研究領域
2 コミュニケーションデザイン領域
3 文芸領域
4 芸術学・文化遺産領域
5 写真・映像領域
6 メディアコンテンツ領域
7 美術・工芸領域
8 書画領域

Q&A……………… 34

1 入学全般
2 学習方法
3 学費
4 学生生活

アクセス……………… 37

京都瓜生山キャンパス

アドミッション・ポリシー

修士課程（通信教育）では、さまざまな職業、経験を持ちながら、本学で芸術に関わる専門性を深め、社会で活動してゆく意欲を持った方の入学を期待しています。そのため入学者の選考にあたっては特に以下の点を重視します。

・自他を尊重しつつ意見を交わしながら制作研究を続けられること。

・芸術に関し修了研究・修了制作を遂行するのに必要な専門的な能力を身につけていること。

・修士課程（通信教育）の教育目標や授業形態を十分に理解していること。

募集概要

1 名称

京都芸術大学大学院
芸術研究科（通信教育）芸術専攻 修士課程

2 授与される学位

「修士（芸術）」(MFA)、または「修士（学術）」(MA)※
※修士（学術）の学位は研究内容が芸術文化、比較文化、歴史文化の学際的分野であると本大学院が認めた場合に限ります。

3 募集定員

領域	分野	募集定員
学際デザイン研究	—	450名
コミュニケーションデザイン※1	ヴィジュアル・コミュニケーションデザイン、スペース・コミュニケーションデザイン	
文芸	—	
芸術学・文化遺産	芸術学、文化遺産	
写真・映像	—	
メディアコンテンツ	グラフィックアート	
美術・工芸	日本画、洋画、工芸デザイン	
書画	—	

※1 コミュニケーションデザイン領域は2026年度より「グラフィックデザイン分野」「映像デザイン分野」「空間デザイン分野」の3分野を、「ヴィジュアル・コミュニケーションデザイン分野」「スペース・コミュニケーションデザイン分野」の2分野に統合・改編いたします。
※2 文芸領域は2026年度より「小説ゼミ1」「小説ゼミ2」「クリティカル・ライティングゼミ」の3ゼミを「クリエイティブ・ライティング・ゼミ」に統合します。

4 出願期間

募集は4月入学のみです。入学日は2026年4月1日です。
出願手続サイトは本学通信制大学院Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）から2026年1月14日（水）10：00〜2月18日（水）17：00にアクセスできます。

出願期間	合格発表日	入学手続金納付締切日
2026年1月14日（水）10:00〜2月18日（水）必着	2026年3月10日（火）	2026年3月17日（火）17:00

入学選考

出願書類と指定提出物で総合的に判断します（指定提出物は領域によって異なります）。
詳しくは6〜13ページで確認してください。

5 修業年限・在籍年限

修業年限	在籍年限
2年	4年

- 修業年限は、修了までに必要とする最短年数です。
- 在籍年限は、本課程に在籍できる最長年数です。
- 休学は入学2年目以降で在籍年限内に通算2年間まで認められます。休学期間は修業年限には含まれませんが、在籍年限には含まれます。休学料は1年間20,000円（2025年度実績）です。

6 出願資格

次のいずれかに該当する方（一定以上の経験者が入学対象です）。

1	日本の大学を卒業した者（2026年3月卒業見込の者を含む）
2	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者 （2026年3月までに授与見込の者を含む）
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者で、学士の学位を授与された者 （2026年3月までに授与見込の者を含む）※日本語での修学能力のある者
4	日本の4年制専修学校専門課程（専門学校）で高度専門士の称号を取得した者 （2026年3月までに取得見込の者を含む）
5	文部科学大臣の指定した者
6	大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認める者で2026年3月31日までに22歳に達する者 ※本大学院（通信教育）が実施する「入学資格審査」に合格することが必要です。（4ページ「出願資格に該当しない方」参照）

出願資格に該当しない方

入学時に22歳に達する方で、以下の条件に該当する方は、本大学院（通信教育）が実施する「入学資格審査」に合格することで、出願資格を得ることができます。本資格審査は、本大学院（通信教育）のみの基準であり、他大学大学院（本学の通学課程の大学院を含む）の受験資格を保証するものではありません。本資格審査を希望される方は、本学通信制大学院Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）の「入学選考・学費」ページを確認してください。

●大学で3年以上修学した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方
●外国において学校教育における15年の課程を修了した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方
●その他、大学を卒業した方と同等以上の学力があると本大学院が認めた方

二重学籍

大学院（修士課程）に入学する場合、専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校の方は在籍中であっても入学できますが、学校教育法に定められた他の大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍されている方は、二重学籍となるため、入学できません。

退学見込者は退学日付に注意してください

学校教育法に定められた他の大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍中で、中途退学を予定されている場合、退学日付が2026年4月1日以降になると二重学籍となるため、入学できません。

海外居住者の入学条件

海外居住者の方も入学可能です。ただし、以下の点に注意してください。

●本学からの全ての送付物（郵便・宅配便等）の宛先は、日本国内の連絡先（中継先）となります。出願は日本国内での確実な連絡先（中継先）を確保できる方に限ります。
●出願資格証明書等の出願書類は原本の提出が必要ですので、早めに取り寄せて提出期限（日本時間2026年2月18日）に間に合うよう提出してください。
●一部の科目ではZoomを使用します。Zoomを使用するリアルタイム授業は日本時間での開催です。
●日本のIPアドレスで接続可能なVPN環境が必要です。
●授業で使用するテキストや参考文献は日本の書籍となるため、Webで閲覧できるものに加え、ご自身で海外発送対応の書籍通販サイトを利用するか、代理の方に手配を依頼していただく必要が発生する可能性があります。
●授業で使用する教材・画材はご自身で準備いただく必要があります。日本画の膠、岩絵具等は入手が難しい場合がありますので、入学前に入手可能かご確認ください。
●対面スクーリング（研究指導科目）は日本国内で受ける必要があります。
※芸術学・文化遺産領域は、遠隔スクーリングでも研究指導科目を受講できます。
●入学後に必要な費用を引き落とす口座の登録をWeb出願手続きで行います（14ページ参照）。引落口座は本人または学費支弁者の名義のもので、日本の金融機関のものに限ります。該当の口座をお持ちでない場合は、通信教育課程 アドミッション・オフィスへメールへご相談ください（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）。

外国籍の方の入学条件

日本以外の国籍の方も入学可能です。ただし、以下の点に注意してください。

① 日本語能力
授業と研究、研究指導、授業内の研究発表、事務連絡はすべて日本語です。学修効果を充分にあげるためには、日本語能力試験（JLPT）N1レベル程度の日本語能力が必要です。また、入学前にご自身の研究分野で必要となる知識の日本語を理解しておく必要があります。

② 留学ビザ
本大学院（通信教育）在籍を理由とする留学ビザの取得はできません。

③ 出願時に必要な書類等
・パスポートのコピー（写真のあるページ）の提出が必要です。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。
・日本在住の場合は在留資格を証明する資料（在留カード・特別永住者証明書の両面のコピー）も提出してください（10ページ「提出書類 パスポートのコピーと在留資格証明書」を参照）。

障がいや疾患等があり修学上の配慮を希望される方へ

入学後に修学支援を希望される方や、障がい等の状況により配慮が必要になる場合は、学習方法・配慮方法について出願締切の1ヶ月前までにご相談ください。
通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）宛てに、氏名、入学を希望される領域・分野、障がい等の内容、希望される支援内容を記載の上、ご連絡ください。内容に応じて、面談を提案させていただく可能性がございます。

領域・分野によっては実技（技術習得）を伴う科目が修了認定上の必修科目として設定されている場合がございます。そのためご連絡いただきました内容を確認の上、希望される領域・分野や関係部署と情報を共有した上で、学習方法・配慮方法についてご相談させていただきます。
なお京都瓜生山キャンパスは、坂道や階段が多いキャンパスとなっています。場所によっては、バリアフリー整備が十分ではない校舎等もございますので、スクーリングを京都で予定されている方は、事前にご見学・ご相談ください。

出願方法

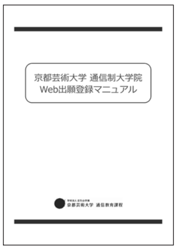
1 出願の流れ

出願者の手続

出願準備
・募集要項やスクーリング日程を通信制大学院webサイトで確認
・提出書類の準備（9〜10ページ）
・顔写真データの準備（10ページ）
・指定提出物の準備（10〜12ページ）※出願する領域の内容を準備。併願の場合は2領域・分野分が必要。

↓

Web手続き
個人情報の入力や指定提出物の提出、入学選考料の支払い（7〜14ページ）
必ず通信制大学院webサイトの「web出願登録マニュアル」を参照しながらお手続きください。



web出願・マニュアルの
確認はこちらから

↓

提出書類の送付
証明書などの提出（8〜13ページ）

↓

大学側の手続

書類到着後、入学選考を実施

↓

合格発表
3月10日（火）

↓

出願者の手続

合格発表後の手続き
3月17日（火）17：00まで
・口座振替登録（14ページ）
・学費（入学手続金）の支払い（14〜15ページ）

↓

大学側の手続

入学許可・学生証の送付
3月下旬

↓

入学式
4月4日（土）※任意参加

↓

ガイダンス
※領域・分野ごとに日程が異なります（入学許可時に通知）

2 併願

修士課程（通信教育）では併願ができます。併願する場合は、以下を確認のうえお手続きください。

- 最大２つの領域・分野までです。
- 「3. 指定提出物（10〜12ページ）」は併願する両方の領域・分野の内容を提出してください。
  「2. 出願書類（8〜10ページ）」は1部で構いません。
- 第一希望の領域・分野を必ず指定してください。入学判定は第一希望を優先します。
- 出願手続き後に第一希望と第二希望の変更はできません。
- 「封筒貼付用宛名シート（10、38ページ）」に2つの出願番号を必ず記入してください。
- 選考料は1回分（35,000円）が免除されます。ただし、一旦それぞれの出願手続きでお支払いいただく必要があり、合格発表後に1回分を返金します（4月末返金予定）。

3 出願手続

本学通信制大学院Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）の「入学選考・学費」ページから出願手続サイトにアクセスし、出願領域･分野選択後、画面上の注意事項･誓約内容を確認･同意のうえで、「出願手続きに進む」をクリックしWeb手続きをしてください。出願ステップの完了後に出願書類（8〜10ページ参照）の送付が必要です。必要書類はあらかじめ取り寄せて準備してください。

出願方法

出願書類と指定提出物による書類審査

出願書類と指定提出物（経歴書、論文、ポートフォリオ等）をもとに、これまでの研究・制作活動内容、および研究計画内容等から、総合的に判断します。
各領域ごとに指定提出物が異なりますので、詳細は10〜12ページを参照してください。

1. 出願のステップ

Step 1　個人情報の入力

入学志願書にあたるものです。志望領域・分野の選択をはじめ、正確に入力してください。
※顔写真データの添付が必要ですので、あらかじめ用意してください（10ページ「指定提出物 顔写真データ」参照）。
※ご自身で設定されたパスワードは以降もairUシステムで使用しますので、必ず控えてください。

Step 2　出願資格の入力

出願資格により入学形態が異なりますので、3ページでご自身の出願資格を確認のうえ、入力してください。

Step 3　アンケートの入力

Step 4　入力内容確認

入力内容を確認します。変更する場合は「入力内容を変更する」ボタンを押して該当項目を修正してください。

Step 5　Web出願受付完了

出願番号が表示されます。あわせて、ご登録のメールアドレスに出願の受付内容と以降の手続き内容・方法をお送りしますので、確認のうえ引き続きお手続きください。
※本メール「Web出願を受け付けました〔airU〕」には、ご自身の出願番号、学習用Webサイト「airUマイページ」のログインID、ログインURLが記載されています。入学後も必要な情報ですので、削除せず保存してください。

Step 6　選考資料提出

「airUマイページ」へログインし、「出願・入学手続きへ進む」から「対象の出願手続き画面へ」をクリックし、指定提出物を入力または添付で提出してください。あらかじめ内容を作成のうえ、次のステップへ進んでください。顔写真はStep1で添付したものと同じデータをここでも添付してください（10ページ「指定提出物 顔写真データ」参照）。また、PC操作等にかかわるスキルチェックも行います。

Step 7 **選考料の支払い**

「ご請求金額」を確認し、お手続きください。お支払い方法はクレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、コンビニ決済、ペイジー決済からの選択です。

※コンビニ決済の場合、支払期限（10日間）が出願期間を超える場合でも、必ず出願期間内にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。

提出書類について

出願に必要な書類と締切日を確認します。画面に表示された提出書類が揃っていることを確認し、出願期間内に郵送（簡易書留速達）または窓口持参にて提出してください。

※書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

併願をする方は以下もweb手続き

二つ目の領域・分野選択と指定提出物の提出

「airUマイページ」へログインし、「出願・入学手続きへ進む」から「新規併願選択」をクリックし、「併願する領域・分野」と、2つの出願先から「第一希望」を選択してください。

引き続き、一つ目の領域・分野のweb出願手続きと同様に「Step6　選考資料提出（7ページ）」と「Step7　選考料の支払い（8ページ）」を行ってください。

※「②併願（7ページ）」もあわせてご確認ください。

2. 出願書類（郵送提出分）

以下の提出物は出願ステップの完了後に郵送で提出が必要です。ご出身校等からの取り寄せが必要なため、Web手続きをする前にあらかじめ準備してください。

提出方法

●国内在住者

市販の封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート（38ページ）」を貼付し、必要書類を同封して郵便局窓口から簡易書留速達で郵送、または宅配便などの追跡ができる配送方法で送付してください。

●海外在住者

市販の封筒に必要書類を同封し、「大学院入試出願書類在中」と表書きして、国際宅配便（EMS、DHL、UPS、FedEx等）で発送してください。「封筒貼付用宛名シート（38ページ）」は記入のうえ同封してください。

提出先

〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山 2-116　京都芸術大学　通信教育課程 アドミッション・オフィス

窓口受付期間：9：00～17：00（月～土）　窓口休止期間：日曜および祝日

Address

Kyoto University of The Arts Correspondence Education Office 2-116, Uryuyama, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8271, JAPAN

提出書類

(1)(2)は全員提出　※併願の場合も「2. 出願書類（8〜10ページ）」は1部で構いません。

(1)出願資格証明書

下表をご確認のうえ、該当する出願資格証明書（原則発行6ヶ月以内のもの。コピー不可、厳封は不要）を取り寄せ、提出してください。

出願資格（3ページ参照）	必要な証明書（すべて提出）	備考
大学を卒業した方	●成績証明書 ●卒業証明書 ※卒業見込みの方 ●成績証明書 ●卒業見込証明書	大学院を修了された方も、大学（学部）の成績証明書・卒業証明書を提出してください。 卒業証書や合格証書では受理できません。 ※成績証明書に卒業年月が記載されている場合は成績証明書のみで構いません。 〔他大学卒業見込の方〕 卒業・学位取得が確定次第、卒業・学位取得証明書と成績証明書を提出してください（締切日：2026年4月4日（土）【必着】） 〔本学通信教育部卒業（見込）の方〕 ・卒業生の方：「成績証明書」を提出してください。同書が卒業の証明も兼ねています。 ・卒業見込の方：「成績証明書〈卒業見込証明書含む〉」を提出してください。また、卒業確定後の成績証明書、卒業証明書の再提出は必要ありません。
大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方	●学位授与証明書 （見込の場合は、学位授与申請受理証明書） ●学位授与機構への申請時に提出したものと同じ単位修得証明書 （合算申請の場合はすべて）	〔見込みの方〕 学位授与後、学位授与証明書を提出してください。（締切日：2026年4月4日（土）【必着】） 大学校等の教育施設の卒業証明書では受理できません。
外国において学校教育における16年の課程を修了した方	●成績証明書 ●卒業証明書または学位取得証明書 ※学士の学位取得が確認できる学部の証明書が必要です。	日本文または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類（公正証書）、の2つを添付してください。 ※別途資料の提出を求める場合があります。
高度専門士の称号を取得した方	●高度専門士称号授与書のコピー（見込の方は後日提出） ●高度専門士の称号を取得した（または取得見込の）専門学校の成績証明書 ●高度専門士の称号を取得した（または取得見込の）専門学校の卒業証明書（または卒業見込証明書）	〔見込みの方〕 卒業が確定次第、以下の3つを提出してください。（締切日：2026年4月4日（土）【必着】） ・卒業証明書 ・成績証明書 ・高度専門士称号授与書のコピー
以下の条件に該当する方で、入学時に22歳に達する方 ●大学で3年以上修学した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方 ●外国において学校教育における15年の課程を修了した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方 ●その他、大学を卒業した方と同等以上の学力があると本大学院が認めた方	（別途定める）	当該出願資格で出願される方は、別途、入学資格審査を行います。本学通信制大学院Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）の「入学選考・学費」ページで「入学資格審査要項」の詳細を確認してください。

※証明書は出力したものを提出して下さい。データでは受付できません。
※各証明書は正本であること。PDF形式を含む電子版証明書を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ原本と認めます。特別な事情がある場合は申し出てください。
※証書が原本のみ1通しか発行されない場合（卒業証明書・「学士」学位証明書・成績証明書を含む）は以下の①または②の方法をとってください。
①公証役場で公証した証明書を提出する
②卒業証書の発行機関で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したものを提出する

(2) 封筒貼付用宛名シート

38ページの書式を印刷し、必要事項を記入して市販の封筒（角2サイズ推奨）に貼付してください。

※併願の場合、本シートに2つの出願番号を必ず記入してください。

(3) (4) は該当する方のみ提出

(3) 戸籍抄本等

「出願資格証明書（9ページ参照）」に記載されている氏名が現在の氏名と異なる場合は、それぞれが一致することを確認できる公的な書類（戸籍抄本、年金手帳の氏名変更記載ページ、在留カードの両面）をいずれか提出してください。コピーで構いませんが、証明書は発行6カ月以内のものに限ります。

※複数回にわたって氏名の変更があり、証明書の氏名がそれぞれ異なっている場合は、その履歴がわかる証明書（コピー可）をあわせて提出してください。

なお、戸籍抄本等は氏名変更の確認のみに使用します。返却は行いません。

(4) パスポートのコピーと在留資格証明書

外国籍の方は、パスポートのコピー（写真のあるページ）を提出してください。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料（在留カード･特別永住者証明書の両面のコピー）も提出してください。なお､本大学院（通信教育）に在籍することを理由とする留学ビザの取得はできません。

3. 指定提出物（Web提出分）

以下の提出物はすべてWeb手続きの過程で提出するものです。Web手続き画面サンプルは、Web出願登録マニュアルにてご確認ください。

web出願・マニュアルの
確認はこちらから

(1) (2) は全員必須

(1) PC操作等にかかわるスキルチェック

インターネット環境やPCの基本的な操作に関する内容および本学で学習するうえでご留意いただきたい内容についての確認をチェックボックス形式でお伺いします。

(2) 顔写真データ

学生証および学生原簿、経歴書に使用します。

5MB以下の画像ファイル（GIF形式、JPG形式、PNG形式、HEIC／ HEIF形式）

縦460px×横368px 推奨

※3ヶ月以内に撮影した証明写真もしくはそれに準じたもの。

※加工した画像はお控えください。

※上半身（肩より上）、無帽、正面、背景無しで顔がはっきりとわかるもの。

※出願のステップで顔写真データを2回提出していただく必要があります（7ページ「Step1、6」参照）。

※スマートフォンで撮った写真で添付の際にエラーとなる場合はJPG、PNG、GIF形式に変換してください。

(3)～(9) は該当する領域の内容を提出

(3) 学際デザイン研究領域

- 経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
- 志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（800字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
- これまでの代表的な研究業績または活動実績の概要（1または2のいずれかを選択）
  1、これまでの代表的な研究業績（著書、論文、レポート、作品）の概要（1,200字程度）
  2、これまでの活動実績（活動・研究内容）と大学院で計画している研究内容との関係性を記したもの（1,200字程度）
- 上記の業績にかかわる参考資料（図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

(4) コミュニケーションデザイン領域

- 経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）

●志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
●ポートフォリオ（作品資料集）
これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点（A4サイズ・縦で作成、20MB以内、圧縮ファイルは不可）。
映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

授業では、デザイン、編集などを実践的に行うため、ポートフォリオ内に必ず、ご自身が操作できるデザインソフト名・編集ソフト名（Adobe Illustrator、Photoshop、Premiere Pro、SketchUpなど）をすべて明記してください。

(5) 文芸領域
●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,200字程度）
文芸創作、編集制作、文芸研究等についての計画を記してください。
・何について、どのような創作および制作・研究を進めようとしているのか
・この大学院でどのようなことを学び、身につけて、修了後、社会で生かしたいか
●これまでの代表的な業績または活動実績の概要（1または2のいずれかを選択）
1、代表的な業績（著書、作品、論文、レポート等）の概要（1,200字程度）
2、これまでの活動実績と大学院で計画している創作･制作･研究との関係性を記したもの（1,200字程度）
●上記の業績や活動実績にかかわる参考資料（創作文や図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）
ご自身が書かれた文章、あるいは編集制作した成果物の一部（A4用紙３枚程度で、作品の書き出しなど一部で結構です）を必ず含めてください。

(6) 芸術学・文化遺産領域
●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
●これまでの代表的な研究業績または活動実績の概要（1または2のいずれかを選択）
1. これまでの代表的な研究業績（著書、論文、レポート、作品）の概要（1,200字程度）
2. これまでの活動実績（活動・研究内容）と大学院で計画している研究内容との関係性を記したもの（1,200字程度）
●上記の業績や活動実績にかかわる参考資料（図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

(7) 写真・映像領域
●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
●ポートフォリオ（作品資料集）
これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点（用紙サイズ指定なし、20MB以内、圧縮ファイルは不可）。
映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

(8) メディアコンテンツ領域
●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴･制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）

●ポートフォリオ（作品資料集）
これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点（用紙指定なし、20MB以内、圧縮ファイルは不可）。
映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

(9)美術・工芸領域

●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴・制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（400～800字程度、大学院で取り組みたい主たる研究テーマ、研究・制作の具体的な内容）
●分野別に以下を提出
日本画分野、洋画分野
これまでの代表的な活動記録や作品の情報をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたもの1点。ポートフォリオ内の作品数は少なくとも8点以上とする。作品画像には作品タイトル、制作年、作品のサイズ、素材を明記すること（用紙サイズ指定なし、20MB以内、圧縮ファイルは不可）。

工芸デザイン分野（1または2のいずれかを選択）
1、個人の作品制作または共同作品・活動（担当内容と成果物を明示すること）いずれかをまとめた活動記録1点。PDFにして提出。作品画像には作品タイトル、制作年、作品のサイズ、素材を明記すること。
2、これまでの代表的な研究業績（作品または著書、論文、レポート）の概要（1,200字程度）。業績にかかわる参考資料とともにテキスト入力しPDFにして提出。
（1、2いずれもPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

(10)書画領域

●経歴（高等学校以降の学歴、所属学会、出願分野に関わる研究歴・制作歴（発表、受賞等）、職歴、業績、取得資格等を時系列にまとめる）
●志望理由（600字程度、本大学院を選んだ理由）
●研究計画（1,000字程度、大学院で取り組みたい主たる研究テーマ、研究・制作の具体的な内容）
●ポートフォリオ
これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点（用紙サイズ、縦横等の形式、構成・内容等は自由とする。ページ数を15項以内、データサイズを20MB以内に収めること。圧縮ファイルは不可）。
映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

4 出願に関する諸注意

窓口での出願書類の提出

通信教育課程 アドミッション・オフィス（京都瓜生山キャンパス　人間館中2階）で出願資格証明書等を提出することもできます。なお、入学選考料は窓口では納付できませんので、あらかじめ支払い手続きを済ませて必要書類を持参してください。
窓口受付時間：9：00～17：00（月～土）
窓口休止日：日曜日および祝日

書類不備

出願書類の記入ミスや必要書類の未提出等の不備がある場合は、入学不許可になることがありますので注意してください。

旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただく場合があります（例：𠮷→吉など）。また、使用する文字フォントのバージョンは「JIS2004（JIS X0213：2004）」に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります（辻→辻、芦→芦など）。

氏名の通称
氏名は戸籍上のものに限ります。通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と出願資格証明書記載の氏名とが一致することを証明する公的な証明書を提出してください。
※障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、出願前に通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）へご相談ください。

出願書類の返却
提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返却いたしません。

出願内容の変更
出願後に領域・分野等を変更することはできません。

住所等の変更
出願書類提出後に住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）にメールで連絡してください。大学からの重要な連絡物をお届けできません。

個人情報の取扱い
本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。個人情報については、出願手続処理、入学選考、学籍管理、教学運営、個人を特定しない統計資料作成のみに使用します。委託業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用します。

入学辞退
入学手続金（入学金・授業料）納付後、入学を辞退される場合は、「入学辞退届」（通信教育課程 アドミッション・オフィスに請求してください）に必要事項を記入のうえ、2026年3月31日（火）の12：00までに提出してください（郵送・宅配便の場合は当日午前中【必着】指定）。入学金を除く授業料を返還します（返金時の振込手数料はご本人負担です）。なお、上記提出締切以降に提出された場合、理由の如何にかかわらず入学金・授業料は返還できません。

入学選考料
入学選考料は、いかなる理由があっても返還しません（併願時の1回分の返金はのぞく）。

受付期間外の書類到着
本学が指定した追加書類以外での、出願受付期間外に届いた書類は受理しません。

入学不許可
入学選考に合格し入学手続きを行った方で、2026年3月31日（火）までに出願資格の要件を満たさなかった場合は入学許可を取り下げて入学不許可とし、入学金を除く授業料を返還します（返金時の振込手数料はご本人負担です）。

書類到着に関するお問い合わせ
書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

入学選考に関するお問い合わせ
選考結果の内容についてのお問い合わせには回答できません。

5 合格発表日・入学手続金納付締切日

合否結果通知は、合格発表日当日に大学よりメールで通知します。
入学手続金納付締切日は厳守してください。締切日までに納付がなかった場合は、入学の意志がないものと判断し入学辞退として取り扱います。

合格発表日	入学手続金納付締切日（厳守）
2026年3月10日（火）	2026年3月17日（火）

※本学通信制大学院Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）でも当日午前10：00より合格者の出願番号（Web出願後、大学より送付するメールにて案内）を掲載します。
※芸術学・文化遺産領域で合格された方は、研究計画の内容によって所属分野の変更をご相談する場合があります。

6 合格発表後の手続き

合格者には、合格通知メールにて入学手続き方法を案内します。納付締切日までに口座振替登録および入学手続金納付を完了してください。
「airUマイページ」へログインし、「出願・入学手続きへ進む」から「Step8　口座振替登録」と「Step9　学費の支払い」を行ってください。

Step 8　口座振替登録　※選考料支払い（Step7（8ページ））、学費の支払い（Step9（14ページ））は引き落しではありません

入学後に必要な費用や2年目以降の学費を引き落とす金融機関口座の登録をSMBCのWebによる口座振替登録サービスを利用して行います。以下をご確認ください。
●預金口座は原則志願者本人または学費支弁者名義に限ります。

●登録時に必要な条件（条件は金融機関によって異なります）
・当該金融機関のキャッシュカードを所持している
・当該金融機関のネットバンキングを契約している
・Web手続き画面での預金残高の入力
・Web手続き画面での各種暗証番号の入力
※各種暗証番号や預金残高はご利用になる金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。ご不明点はご利用の金融機関にお問い合わせください。

●海外在住で日本国内の口座をお持ちでない場合、画面のリンクから下記【お問い合わせ先】へご連絡ください。

●Web手続き時にエラーとなる場合
SMBCのWebによる口座振替登録サービスにて使用できない漢字が氏名に含まれている可能性があります。ご自身では修正できませんので、画面のリンクから下記へご連絡ください。

●登録が完了できなかった方は預金口座振替依頼書による登録を案内しますので、画面のリンクから以下へご連絡ください。預金口座振替依頼書は事務局の承認を得た方のみ使用できます。
【お問い合わせ先】通信教育課程 アドミッション・オフィス　tsushin@office.kyoto-art.ac.jp
件名：引落口座振替登録エラー
本文：出願番号、氏名、生年月日、住所、引落口座登録ができない旨の詳細　をご記載ください。

Step 9　学費の支払い（入学手続金の納付）

納付締切日（2026年3月17日（火）17:00）までに入学手続金を納付してください（15ページ1-2参照）。
支払方法は、クレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、ペイジー決済のいずれかです。

学費

1 必要な費用

1. 出願時に必要な費用

出願手続サイト「入学選考料の支払い」の画面にて、クレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、コンビニ決済、ペイジー決済のいずれかを選択し、支払操作を行います。

入学選考料	**35,000円**

2. 合格後、入学手続き時に納付が必要な費用（入学手続金）

納付締切日（2026年3月17日（火）17:00）までに入学手続金を納付してください。
支払方法は、クレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、ペイジー決済のいずれかです。

入学手続金		学際デザイン研究領域、 コミュニケーションデザイン領域、 写真・映像領域、メディアコンテンツ領域、 美術・工芸領域、書画領域	文芸領域、 芸術学・文化遺産領域
内訳	入学金	100,000円	
	授業料（初年度分）	360,000円	375,000円
入学手続金　合計		**460,000円**	**475,000円**

※授業料は改定することがあります。

入学金

初年度のみ必要な費用です。

授業料

授業料には、スクーリング研究制作科目（SR）の受講料、Webスクーリング科目（WS）の電子テキスト代、添削指導料、学生教育研究災害傷害保険料を含みます。

●研究指導科目と「論文研究基礎」（芸術学・文化遺産領域のみ履修可）は、別途受講料が必要です（16ページ参照）。

●科目によっては、別途テキスト・参考文献代が必要になる場合があります。

勤労学生の所得控除

勤労学生控除とは、納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。独立した生計者で、給与所得が年間130万円以下であること等が条件（他にも条件あり）です。詳しくは勤務先の給与担当部署や、所轄の税務署にお問い合わせください。

入学手続金の一部免除対象

以下に該当する方は、入学手続金の一部が免除されます。入学志願書の該当欄に記入のうえ、必要書類（該当者のみ）を提出してください。

免除対象		免除金額	提出書類・手続き
①瓜生山学園・併設校の卒業・修了（見込）者	本学通信教育部芸術学部または大学院芸術研究科（通信教育） 京都芸術大学（通学部）芸術学部または大学院 京都芸術短期大学 京都芸術大学附属高等学校 京都芸術デザイン専門学校（旧校名：京都国際文化専門学校） 藤川学園	入学金100,000円免除	本学園・併設校以外の学歴を出願資格とされる場合のみ、本学園・併設校の卒業・修了（見込）証明書を別途提出。 出願手続サイト「step2 出願資格の入力」にある本学・併設校学歴の項目に必要事項を入力。
②瓜生山学園・併設校の卒業・修了（見込）者の子女			本学園の卒業・修了（見込）証明書および卒業・修了（見込）者と志願者の関係が確認できる公的書類を提出する必要があります。出願前にまず通信教育課程入学課へご連絡ください※1。
③瓜生山学園（通学部）・併設校在学生の保護者 または学費支弁者	京都芸術大学（通学部）芸術学部または大学院・京都芸術デザイン専門学校・京都芸術大学附属高等学校の在学生および認可保育園こども芸術大学の保護者または学費支弁者		「本学園の在学証明書」（または入学許可証のコピー）を提出する必要があります。出願前にまず通信教育課程入学課へご連絡ください※1。

※1【お問い合わせ先】通信教育課程 アドミッション・オフィス　tsushin@office.kyoto-art.ac.jp
件名：入学手続金の一部免除対象
本文：志願者（ご本人）の氏名、住所、電話番号、志望領域（分野）、メールアドレスと卒業・修了（見込）者または在学生の氏名、在籍学科、学年、学籍番号　をご記載ください。

3. 入学後に必要な費用

費用項目		金額		備考
授業料 （2年目以降）	学際デザイン研究領域、コミュニケーションデザイン領域、写真・映像領域、メディアコンテンツ領域、美術・工芸領域、書画領域	1年間につき	360,000円	●1年次終了前の2月頃に下記いずれかの支払方法でお支払いいただきます。 口座引落・クレジットカード決済・ネットバンキング（銀行ネット）決済・ローン利用・ペイジー決済
	文芸領域、芸術学・文化遺産領域	1年間につき	375,000円	
自由選択科目受講料	講義：京都瓜生山キャンパス 大阪サテライトキャンパス その他	1単位あたり	15,000円	●授業料とは別に自由選択科目で受講料がかかるものがあります。芸術学・文化遺産領域の学生のみが履修可の「論文研究基礎」や、各領域のゼミ授業を補うための科目「研究指導」がそれに該当します。「研究指導」は年度や領域によって開講の有無が異なりますので、詳細は各領域の科目一覧を参照してください。 ●「論文研究基礎」の受講料は8,000～10,500円で、受講形態により異なります。 ●課題や作品の持込・持帰に宅配便代がかかる場合があります。 ●受講後、登録口座から引き落します。
	講義：東京外苑キャンパス		16,000円	
	演習：京都瓜生山キャンパス 大阪サテライトキャンパス その他		25,000円	
	演習：東京外苑キャンパス		28,000円	

※上記は2026年度適用金額です。学費等、諸費用は改定する場合があります。
※研究指導科目を受講する場合、別途材料費、施設使用料、交通費等が必要となる場合があります。
※研究指導科目は受講生が一定人数に満たなければ、開講を中止する場合があります。

4. 支払方法

	入学選考料 (出願手続き時)	入学手続金 (合格後)	入学後に必要な費用 (2年目以降の学費)
支払方法 (いずれかを選択)	・クレジットカード決済 ・ネットバンキング（銀行ネット）決済 ・コンビニ決済 ・ペイジー決済	・クレジットカード決済 ・ネットバンキング（銀行ネット）決済 ・ペイジー決済	・登録口座から引き落とし ・クレジットカード決済 ・ネットバンキング（銀行ネット）決済 ・ローン利用 ・ペイジー決済

※研究指導・自由選択科目受講料は登録口座から引き落します（16ページ参照）。

2 奨学金・助成金制度

日本学生支援機構奨学金（2025年度入学者実績）

奨学金の種類	貸与月額	貸与期間	家計基準 2024年（1月～12月）の 収入金額の上限
①第一種奨学金（無利子貸与）	次の月額から 申込者が自由に選択 月額50,000円 または 月額88,000円	申請年4月より当該課程の標準修業年限が修了する月まで	299万円
②第二種奨学金 (有利子貸与／利息上限3%／在学中は無利息)	次の月額の中から 申込者が自由に選択 月額　50,000円 月額　80,000円 月額　100,000円 月額　130,000円 月額　150,000円	申請年4月～9月の間で希望する月から、当該課程の標準修業年限が終了する月まで	536万円
③入学時特別増額貸与奨学金 (一時金／この奨学金のみの申し込みは受付不可。第一種奨学金、第二種奨学金と併せて申し込む必要あり)	次の一時金の中から 申込者が自由に選択 100,000円 200,000円 300,000円 400,000円 500,000円	入学時のみ	収入金額が120万円以下の人 または 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申請したが、利用できなかった人

※①②の併用貸与を希望する場合の家計基準は284万円です。

※申込者の人物・健康・学力・家計について総合的に審査します。申請書類により推薦者を決定します。

※上記の内容は2025年度入学者用のものです。2026年度の奨学金募集の詳細は、入学後にお渡しする書類で確認してください。

京都芸術大学通信教育課程学生創作研究助成金（2025年度実績）

優れた創作・研究活動およびそれらの発表普及活動を行う学生（個人およびグループ）の自主的活動に対して助成金を支給する制度です。審査のうえ200,000円を上限に支援します。

※販売や営利目的として行う活動、所属する企業・団体、またゼミの活動の直接延長上にある企画や、評価を伴う科目に直接関連する活動は対象外です。

1 パソコン・アプリケーションソフト

(1)スキルレベル

基本的なパソコンスキル（文字の入力やコピー＆ペースト、作成した文書や資料・画像の保存・PDF変換（ファイル形式を指定して保存)、作成したファイルのアップロード等）や、インターネット閲覧等のWeb操作スキルが必要です。また、Zoom（オンライン会議システム）を利用した授業ではファイルを共有いただく場合がございます。パソコンのテクニカルサポートは事務局では行っていません。パソコンやZoom等の操作や接続テストはご自身で行ってください。

(2)推奨機材

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です。
画面の見やすさ（画面サイズ）や文字入力のしやすさ（キーボードの有無）を考慮してご自身に合った端末を選んでください。双方向でのコミュニケーションがとれるようにwebカメラ・マイクが使用できるものを準備してください。基本的には事務作業向けのパソコンで十分です。美術・工芸領域では作品全体が鮮明に写る性能があるwebカメラを必ず準備してください。

(3)システム要件

デバイス	対象OS	ブラウザ
Windows PC	Windows 11 以降	Google Chrome（推奨） Microsoft Edge
Mac PC	macOS 13 Ventura 以降	Google Chrome（推奨） Safari
iPhone・iPad	iOS 16 以降	Google Chrome（推奨） Safari
Android端末	Android 13 以降	Google Chrome（推奨）

※ブラウザはいずれも最新版を使用してください。
※ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しない場合があります。
※今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。

(4)アプリケーション

レポート作成にあたってはそれなりの長文を執筆しますので、Word等のテキストエディタが使用できるとよいでしょう。遠隔スクーリングではZoom（オンライン会議システム）も使用します。最新のシステム要件についてはZoomのWebサイトをご確認ください。
・Zoom　ヘルプセンター＞はじめに（https://support.zoom.us/）

(5)インターネット環境

Web利用にあたっては別途通信料がかかります。定額の高速光回線を推奨します。
また、海外から接続する場合は日本のIPアドレスで接続可能なVPN環境が必要です。

(6)システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用していただけます。また、ブラウザの設定は日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

2 学習形態

SR科目やS科目にはリアルタイム出席が必須なスクーリングがあります。
2026年度に予定しているスクーリング日程の一覧は通信制大学院webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）の「学び方」ページを確認してください（2025年11月中旬公開予定）。

（1）スクーリング演習・研究科目（SR）

自宅で個々に研究および制作を主体的に進め、定期的に行われるオンラインのスクーリングに出席し、研究報告や指導を受ける形の科目です。スクーリングは、各領域が指定する全日程・全講時Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

（2）スクーリング科目（S）

履修方法や受講形態は科目により異なります（オンデマンド型・対面型）。開講日は科目ごとに指定されています。事前課題、事後課題などが課されることがあります。研究指導・自由選択科目では、学外やキャンパスに登校して受講する科目もあります。

※（1）（2）のリアルタイム受講時は出欠・受講状況確認のため、原則カメラをオンにして受講していただきます。（持病等やむを得ない場合を除く）

（3）Webスクーリング科目（WS）

動画教材を中心に学習を進める科目です。自由選択科目の「芸術史講義」各科目がこの形態に該当します。科目は、全15章で構成されており、1章あたり1〜5本の動画教材（合計20〜30分程度）を視聴し、並行して電子テキストを読んで学習します。各章ごとに設けられた章末テストに解答し、全問正解すると次章に進むことができます。15章終了後、レポート形式の試験を提出し、提出されたレポートに対する教員からの全体講評を動画で視聴することで授業が終了します。すべての動画の視聴とレポート試験の合格によって単位を修得できます。

（4）airUマイページ

学習用Webサイト「airUマイページ」を設けています。

【airUマイページの機能】

●「シラバス」（授業概要）の確認※　●スクーリング演習・研究科目（SR）の研究報告や指導
●動画教材等の視聴　●Webスクーリング科目（WS）の履修
●スクーリング科目（S）の申し込み・キャンセル等　●課題の提出
●履修状況の確認　●各種手続き等
●授業コミュニティでの学生間の情報交換　●その他の学習および学生生活支援情報
※「シラバス」はWeb版のみです。印刷製本版はありません。

3 修了要件

領域ごとに指定された必修科目（30単位）をすべて修得すれば修了要件を満たすことができます。
ただし、論文執筆を行う一部の分野（芸術学・文化遺産領域全分野）は入学選考時に論文を執筆するにあたっての基礎的な科目や、芸術史の科目など、基礎的な知識を養うための科目が追加で指定される場合があります。

<table>
<tr><th>領域</th><th>専攻
共通</th><th>分野
特論</th><th>演習</th><th>研究</th><th>残り必要な
単位数</th><th>修得
すべき
単位数</th><th>修士論文等の内容</th></tr>
<tr><td>学際デザイン研究領域</td><td rowspan="2">6単位
以上</td><td rowspan="2">8単位</td><td rowspan="2">8単位</td><td rowspan="2">8単位</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">合計
30単位
以上</td><td>研究科目の成果物の審査および試験に合格</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションデザイン領域（ヴィジュアル・コミュニケーションデザイン分野/スペース・コミュニケーションデザイン分野）</td><td>修士制作作品および修士論文（制作研究ノート）の審査および試験に合格</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>領域</th><th>専攻
共通</th><th>分野
特論</th><th>演習</th><th>研究</th><th>残り必要な
単位数</th><th>修得
すべき
単位数</th><th>修士論文等の内容</th></tr>
<tr><td>文芸領域</td><td rowspan="6">6単位
以上</td><td rowspan="6">4単位
以上</td><td rowspan="6">8単位</td><td rowspan="6">8単位</td><td rowspan="6">専攻共通／
分野特論／
研究指導
科目より
4単位以上
選択履修</td><td rowspan="6">合計
30単位
以上</td><td>修士制作作品および修士論文（制作研究ノート）の審査および試験に合格</td></tr>
<tr><td>芸術学・文化遺産領域
（芸術学/文化遺産）</td><td>修士論文の審査および試験に合格</td></tr>
<tr><td>写真・映像領域</td><td rowspan="4">写真・映像、メディアコンテンツ、日本画、洋画、書画
修士制作作品および修士論文（制作研究ノート）の審査および試験に合格

工芸デザイン：
研究活動報告を伴う修士論文</td></tr>
<tr><td>メディアコンテンツ領域
（グラフィックアート）</td></tr>
<tr><td>美術・工芸領域
（日本画/洋画/工芸デザイン）</td></tr>
<tr><td>書画領域</td></tr>
</table>

※修了要件には含まれない自由選択科目があります。詳細は21ページ以降の各領域の科目一覧で確認してください。
※研究科目を履修するには、1年次の間に修了研究・制作着手要件を満たさなくてはなりません。
詳細は35ページのQ.8を確認してください。

科目一覧

(1)学際デザイン研究領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件必要単位数	●：必修 ○：選択必修 △：必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	学際デザイン特論Ⅰ-1・2、Ⅱ-1・2	8	●	
演習	1	SR	各2	学際デザイン演習Ⅰ～Ⅳ	8	●	
研究	2	SR	8	学際デザイン研究	8	●	
修了要件　合計					30		

自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

(2)コミュニケーションデザイン領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件必要単位数	●：必修 ○：選択必修 △：必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	コミュニケーションデザイン特論Ⅰ～Ⅳ	8	●	
演習	1	SR	8	コミュニケーションデザイン演習	8	●	
研究	2	SR	8	コミュニケーションデザイン研究	8	●	
修了要件　合計					30		

自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

(3) 文芸領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	文芸特論Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ～Ⅶ	4	○	「文芸特論Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ～Ⅶ」から2科目(4単位)以上必修
演習	1	SR	8	文芸演習	8	●	
研究	2	SR	8	文芸研究	8	●	
研究指導	1	S (対面または遠隔)	1	文芸研究指導Ⅰ		△	別途受講料が必要(16ページ参照)
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論より4単位以上選択履修	
修了要件　合計					30		

自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目(合計16科目)開講			修了要件には含まれません

(4) 芸術学・文化遺産領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択		備考
						芸術学	文化遺産	
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	●	
				制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	△	
分野特論	1	S	各2	芸術学特論Ⅰ～Ⅳ	4	○	―	所属分野の分野特論から2科目(4単位)以上必修
				文化遺産特論Ⅰ～Ⅳ		―	○	
演習	1	SR	8	芸術文化演習	8	●	●	
研究	2	SR	8	芸術文化研究	8	●	●	
研究指導	1	S (対面または遠隔)	1	芸術文化研究指導Ⅰ-1		△	△	別途受講料が必要(16ページ参照)
	1	S (対面または遠隔)	1	芸術文化研究指導Ⅰ-2		△	△	
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論／研究指導科目より4単位以上選択履修		
修了要件　合計					30			

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
自由選択	1	S	1	論文研究基礎			・修了要件には含まれません ・別途受講料が必要（16ページ参照） ・受講形態は、「遠隔」または「遠隔＋対面」となります
	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

履修科目の個別指定について（芸術学・文化遺産領域のみ）

芸術学・文化遺産領域では、出願書類と指定提出物による書類審査によって、論文を執筆するにあたっての基礎的な科目や、芸術史の科目など、基礎的な知識を養うための科目が追加で指定される場合があります。

(5) 写真・映像領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上選択必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	写真・映像特論Ⅰ、Ⅱ	4	●	
演習	1	SR	8	写真・映像演習	8	●	
研究	2	SR	8	写真・映像研究	8	●	
研究指導	1	S (対面)	各2	写真・映像研究指導Ⅰ-1～2		△	別途受講料が必要（16ページ参照）
			1	写真・映像研究指導Ⅰ-3			
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論／研究指導科目より4単位以上選択履修	
修了要件　合計					30		

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

(6) メディアコンテンツ領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上選択必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	グラフィックアート特論Ⅰ、Ⅱ	4	●	
演習	1	SR	8	メディアコンテンツ演習	8	●	
研究	2	SR	8	メディアコンテンツ研究	8	●	
研究指導	1	S (対面)	各1	メディアコンテンツ研究指導Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ		△	別途受講料が必要 (16ページ参照)
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論／研究指導科目より4単位以上選択履修	
修了要件　合計					30		

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数		備考
自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目(合計16科目)開講			修了要件には含まれません

(7) 美術・工芸領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択			備考
						日本画	洋画	工芸デザイン	
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	●	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	●	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	○	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目(2単位)以上選択必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	△	△	
分野特論	1	S	各2	日本画特論Ⅰ、Ⅱ	4	●	△	△	所属分野の分野特論から2科目(4単位)必修
			各2	洋画特論Ⅰ、Ⅱ		△	●	△	
			各2	工芸デザイン特論Ⅰ、Ⅱ		△	△	●	
演習	1	SR	8	美術・工芸演習(日本画)	8	●	—	—	
			8	美術・工芸演習(洋画)		—	●	—	
			8	美術・工芸演習(工芸デザイン)		—	—	●	
研究	2	SR	8	美術・工芸研究(日本画)	8	●	—	—	
			8	美術・工芸研究(洋画)		—	●	—	
			8	美術・工芸研究(工芸デザイン)		—	—	●	

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択 日本画	洋画	工芸デザイン	備考
研究指導	1	S (対面)	各1	日本画研究指導Ⅰ-1～3 日本画研究指導Ⅱ-1～3		△	△	△	別途受講料が必要（16ページ参照）
	1	S (対面)	各1	洋画研究指導Ⅰ、Ⅱ		△	△	△	
	2	S (対面)	各1	洋画研究指導Ⅲ、Ⅳ		△	△	△	
	1	S (対面)	各1	工芸デザイン研究指導Ⅰ、Ⅱ		△	△	△	
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論／研究指導科目より4単位以上選択履修			
修了要件　合計					30				

自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

(8)書画領域

科目群	配当年次	開講区分	単位数	科目名	修了要件 必要単位数	●:必修 ○:選択必修 △:必要に応じて選択	備考
専攻共通	1	S	各2	芸術文化論特論Ⅰ	2	●	
				芸術文化論特論Ⅱ	2	●	
	1	S	各2	制作行為原論Ⅰ～Ⅵ	2	○	「制作行為原論Ⅰ～Ⅵ」から1科目（2単位）以上選択必修
				芸術環境原論Ⅰ～Ⅵ		△	
分野特論	1	S	各2	書画特論Ⅰ、Ⅱ	4	●	
演習	1	SR	8	書画演習	8	●	
研究	2	SR	8	書画研究	8	●	
研究指導	1	S (対面)	各1	書画研究指導Ⅰ		△	別途受講料が必要
残り必要な単位数					4	専攻共通／分野特論／研究指導科目より4単位以上選択履修	
修了要件　合計					30		

自由選択	1	WS	各2	芸術史講義1～4 ※日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講			修了要件には含まれません

学習方法・履修モデル

1 学際デザイン研究領域

1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講期間中に動画講義の視聴、ディスカッション、レポート課題の提出、講評動画の視聴が必要です。「学際デザイン研究」は、オンラインのゼミを4、5、6、9、10、11、12月、ゼミ合宿（自由参加）を7月、中間発表会を8月、最終発表会（出席必須）を1月に実施します。詳細な日程は、入学後にお知らせします。

2. パソコン

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照）。
授業では、クローズドなSNSや、Zoom（オンライン会議システム）、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

3. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位　必	初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出								
制作行為原論Ⅰ　2単位　選必							初回提出/中間講評/最終提出					
学際デザイン特論Ⅰ-1、2　各2単位　必		レポート提出			レポート提出							
学際デザイン特論Ⅱ-1、2　各2単位　必		レポート提出			レポート提出							
学際デザイン演習Ⅰ～Ⅳ　各2単位　必				レポート提出						レポート提出		

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学際デザイン研究　8単位　必	1日間	1日間	1日間	3日間	2日間	1日間	1日間	1日間	1日間	2日間		

必 必修科目　選必 選択必修科目

※「特論」「演習」は、グループワークへの参加が必要です。
※「研究」は、オンラインゼミへの出席やグループワークへの参加が必要です。
※「演習Ⅱ」の発表会および「研究」のゼミは原則出席が必須です。やむを得ない理由で欠席の場合は、事前に届け出たうえでアーカイブ動画を視聴し、全グループの発表にコメントを入れることで代替措置とします。
※スクーリング日程は予定です。

2 コミュニケーションデザイン領域

1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講期間中に動画講義の視聴、ディスカッション、レポート課題の提出、講評動画の視聴が必要です。「コミュニケーションデザイン研究」は、オンラインのゼミを4、6、7、9、10、11、12月の計7回行います。全日程Zoomでのリアルタイム出席が必須です。中間発表会を7月、最終発表会を12月に実施予定です。詳細な日程は、入学後にお知らせします。

2. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照)。
授業では、Zoom（オンライン会議システム)、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。クローズドなSNSを使用する場合もあります。

・Adobe illustrator & Photoshop（必須）
※その他、アウトプットによっては以下を使用できることが望ましい。
・モデリングソフト（SketchUp、Vectorworks、Fusion、Blenderなど）
・映像編集ソフト（Adobe Premiere Proなど）

また、ご自身が使用できるデザインソフト名をすべて必ずポートフォリオに明記してください（10ページ参照)。

3. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位 必		初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出							
制作行為原論Ⅴ　2単位 選必					初回提出/中間講評/最終提出							
コミュニケーションデザイン特論Ⅰ　2単位 必		初回提出/中間講評/最終提出										
コミュニケーションデザイン特論Ⅱ　2単位 必		初回提出/中間講評/最終提出										
コミュニケーションデザイン特論Ⅲ　2単位 必					初回提出/中間講評/最終提出							
コミュニケーションデザイン特論Ⅳ　2単位 必					初回提出/中間講評/最終提出							
コミュニケーションデザイン演習　8単位 必							1日間	1日間	1日間		2日間	

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コミュニケーションデザイン研究　8単位 必	1日間		1日間	1日間		1日間	1日間	1日間	1日間			

必 必修科目　選必 選択必修科目

※「特論」「演習」科目は、グループワークへの参加が必要です。
※スクーリング日程は予定です。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

3 文芸領域

1. スクーリング

専攻共通科目および分野特論科目では、開講期中に講義動画の視聴、参考図書や推奨図書の講読、課題レポートまた作品のWeb提出、リアルタイムのオンライン授業の受講（1日3講時程度）等が必要です。授業では全体講評やディスカッション、プレゼンテーションや個別面談等を行います。
演習科目・研究科目は一年を通じてリアルタイムのオンライン授業（1日2講時×年間6～7回）の受講と各自の制作により進めます。授業では毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員コメントにより修了作品テーマや表現形式を探求します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. 研究指導科目

必修科目以外に対面または遠隔のスクーリング科目（有料）も設けています。

3. パソコン

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照）。
授業では、Zoom（オンライン会議システム）、Word等のテキストエディタ、PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェア、Excel等を使用予定です。

4. ゼミ内のグループ分け

出願時の指定提出物（研究計画）の内容に基づいて、ゼミ内で所属グループを決定し、入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」で所属を発表します。
希望を最大限汲みますが、所属グループおよび指導担当教員は指定できません。
本領域では開かれた創作・研究のコミュニティの醸成を目指しています。グループを横断しての合評会等も実施予定ですので、ぜひ活発な意見交換をしながら、自身の表現・編集力を磨いてください。

5. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

<table>
<tr><th>科目名</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr>
<tr><td>芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位　必</td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>制作行為原論Ⅳ　2単位　選必</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文芸特論Ⅰ、Ⅳ　各2単位　選必</td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文芸演習　8単位　必</td><td>1日間</td><td>1日間</td><td></td><td>1日間</td><td></td><td></td><td>1日間</td><td>1日間</td><td>1日間</td><td>1日間</td><td></td><td></td></tr>
</table>

〔2年次〕履修スケジュール例

<table>
<tr><th>科目名</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr>
<tr><td>制作行為原論Ⅴ　2単位　選必</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文芸特論Ⅵ　2単位　選必</td><td colspan="3">初回提出/中間講評/最終提出</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文芸研究　8単位　必</td><td>1日間</td><td>1日間</td><td></td><td>1日間</td><td></td><td></td><td>1日間</td><td>1日間</td><td>1日間</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

必 必修科目　選必 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。土曜日または日曜日に開講します。
※演習・研究科目では、スクーリングとは別に前期末と後期末にゼミ合評会および各ゼミ成果発表会を実施予定です。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

4 芸術学・文化遺産領域

1. スクーリング

スクーリングはすべてWeb上で開講します。開講日時に遠隔での出席が必須です。
演習科目・研究科目は一年を通じてリアルタイムでのオンライン授業（1日3講時程度×年間5〜7回）の受講および研究記録、課題提出により進めます。ゼミではそれぞれの研究進捗発表やディスカッション、教員からのコメント指導などを行います。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. 研究指導科目

必修科目以外に対面または遠隔のスクーリング科目（有料）も設けています。

3. パソコン

インターネットの環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照）。
学習用Webサイト「airUマイページ」などを使用して研究の記録や課題の提出、教員からの指導を行います。また、Zoom（オンライン会議システム）を使用して遠隔でのスクーリングも行いますので、カメラ・マイク付きのパソコンを推奨します。

4. 所属ゼミ

本領域には、芸術学分野・文化遺産分野があり、各分野に2つのゼミがあります。出願時には希望する分野を選択してください。指定提出物（研究計画）の内容に基づいて、領域にて所属ゼミを決定し、入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」で所属を発表します。希望を最大限汲みますが、所属ゼミおよび指導担当教員は指定できません。

5. 履修モデル（芸術学分野の場合）

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位	必		初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出							
制作行為原論Ⅴ　2単位	選必					初回提出/中間講評/最終提出							
芸術学特論Ⅰ　2単位	選必			2日間									
芸術学特論Ⅱ　2単位	選必							2日間					
芸術文化演習　8単位	必	1日間	1日間	1日間	1日間			1日間	1日間	1日間			

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制作行為原論Ⅳ　2単位	選必					初回提出/中間講評/最終提出							
芸術学特論Ⅲ　2単位	選必				2日間								
芸術文化研究　8単位	必	1日間	1日間	1日間				1日間	1日間				

必 必修科目　選必 選択必修科目

※芸術学・文化遺産領域の分野特論科目は指定された日時にスクーリングの受講が必要です。
※スクーリング日程は予定です。土曜日または日曜日に開講します。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

5 写真・映像領域

1. スクーリング

写真・映像領域では科目群により受講形態が異なります（23ページ「科目一覧」参照）。

分野特論（S科目）

Web上で開講します。開講期中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポートのWeb提出、講評動画の視聴が必須です。

演習/研究（SR科目）

一年を通じて開講します。毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員からのコメントにより修士制作作品テーマや表現形式を探究します。
全日程、全講時の出席が必須で、欠席・遅刻・早退は認められません。
演習・研究科目は年度初めに下記いずれかの受講形態を選択します（年度途中に変更はできません）。

■完全遠隔
Zoomによるリアルタイムのオンライン授業（年間1日×6回）の受講と各自の制作を進めます。
■遠隔＋対面
Zoomによるリアルタイムのオンライン授業（年間1日×2回）と、対面授業「写真・映像研究指導」（年間1日×4回）の受講が必修です。「写真・映像研究指導」は東京開講かつ有料です。

研究指導（S科目）
研究指導科目は対面開講（有料）です。
・演習・研究科目を遠隔＋対面で受講する場合は、以下の科目の受講が必修です（東京開講かつ有料）。
「写真・映像演習」（M1）…「写真・映像研究指導Ⅰ-1」を受講
「写真・映像研究」（M2）…「写真・映像研究指導Ⅰ-2」を受講
※完全遠隔で受講する場合は、必修ではありません。
・「写真・映像研究指導Ⅰ-3」は必修ではありません。
詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. パソコン
インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「（2）推奨機材」参照）。
授業では、Zoom（オンライン会議システム）、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

3. 履修モデル
〔1年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位　必	初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出								
制作行為原論Ⅲ　2単位　選必							初回提出/中間講評/最終提出					
芸術環境原論Ⅴ　2単位　選必				初回提出/中間講評/最終提出								
写真・映像特論Ⅰ　2単位　必	初回提出/中間講評/最終提出											
写真・映像演習　8単位　必	1日間	1日間		1日間			1日間	1日間			1日間	
写真・映像研究指導Ⅰ-1　2単位		1日間		1日間			1日間	1日間				

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
写真・映像特論Ⅱ　2単位　必				初回提出/中間講評/最終提出								
写真・映像研究　8単位　必	1日間	1日間		1日間			1日間	1日間		1日間		

必 必修科目　選必 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。
※演習・研究科目の受講については、29ページをあわせてご確認ください。
※遠隔＋対面で演習／研究科目を受講する場合、5～11月の4日間が対面受講となります。

6 メディアコンテンツ領域

1. スクーリング

スクーリングはWeb上で開講します。
分野特論科目は開講期中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポート課題のWeb提出、講評動画の視聴が必須です。
演習科目、研究科目は一年を通じてリアルタイムのオンライン授業（年間1日×演習6回、研究6回）の受講と各自の制作により進めます。授業では毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員コメントにより修了作品テーマや表現形式を探求します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. 研究指導科目

必修科目以外に対面または遠隔のスクーリング科目（有料）も設けています。

3. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2)推奨機材」参照）。
授業では、Zoom（オンライン会議システム）上でMicrosoft PowerPointやKeynote等によるプレゼンテーションを行っていただきます。また作品制作にあたっては、Adobe Illustrator ＆ Photoshopの操作環境を推奨します。

4. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位	必		初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出							
制作行為原論Ⅲ　2単位	選必								初回提出/中間講評/最終提出				
芸術環境原論Ⅳ　2単位	選必		初回提出/中間講評/最終提出										
グラフィックアート特論Ⅰ　2単位	必					初回提出/中間講評/最終提出							
グラフィックアート特論Ⅱ　2単位	必								初回提出/中間講評/最終提出				
グラフィックアート演習　8単位	必	1日間	1日間		1日間			1日間	1日間		2日間		
グラフィックアート研究指導Ⅱ　1単位									2日間				
グラフィックアート研究指導Ⅲ　1単位							2日間						

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グラフィックアート研究　8単位	必	1日間	1日間		1日間			1日間	1日間		1日間		
グラフィックアート研究指導Ⅳ　1単位							2日間						

必 必修科目　選必 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

7 美術・工芸領域

1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講期中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポート課題のWeb提出、講評動画等の視聴が必要です。
各分野の演習科目、研究科目は、1年を通してリアルタイムによるオンライン授業（1日3～5講時相当×年間4～10回。※分野により異なる）の受講と各自の制作で進めます。授業では毎回制作経過を発表し、学生同士のディスカッションや教員の講評により、修了制作のテーマや表現方法を探究します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. 研究指導科目

必修科目以外に対面のスクーリング科目（有料）も設けています。

3. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照）。
授業では、学習用Webサイト「airUマイページ」や、Zoom（オンライン会議システム）を使用予定です。

[入学時に必要なもの]

・18ページに記載の「システム要件」を満たし、インターネットへの接続環境が整ったパソコン（カメラ、マイクが使用できる設定のもの）
・ヘッドセットもしくはマイク、イヤホンなど、遠隔で授業参加するための音声入出力機器

[工芸デザイン分野のみ対象]

研究を進めるうえで用意することが望ましいもの（入学時は不要。研究の進捗の中で必要に応じて用意）
・画像編集のためのソフトウェア（Adobe Creative Cloudは学生版ライセンスあり。2025年度実績で初年度は2,780円/月、2年目以降は4,180円/月）

4. 履修モデル（日本画分野の場合）

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位　必		初回提出/中間講評/最終提出			初回提出/中間講評/最終提出							
制作行為原論Ⅰ　2単位　選必								初回提出/中間講評/最終提出				
制作行為原論Ⅱ　2単位　選必								初回提出/中間講評/最終提出				
日本画特論Ⅰ　2単位　必					初回提出/中間講評/最終提出							
日本画特論Ⅱ　2単位　必								初回提出/中間講評/最終提出				
美術・工芸演習（日本画）　8単位　必		2日間			2日間		2日間			2日間		

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
洋画特論Ⅰ　2単位　選必		初回提出/中間講評/最終提出										
美術・工芸研究（日本画）　8単位　必	2日間			2日間			2日間		2日間			

必 必修科目　選必 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

8 書画領域

1. スクーリング

スクーリングはWeb上で開講します。分野特論科目は開講期中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポート課題のWeb提出、講評動画の視聴が必須です。
演習科目、研究科目は一年を通じてリアルタイムのオンライン授業（年間2日×演習4回、）の受講と各自の制作により進めます。授業では毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員コメントにより修了作品テーマや表現形式を探究します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

2. 研究指導科目

必修科目以外に対面または遠隔のスクーリング科目（有料）も設けています。

3. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（18ページ「(2) 推奨機材」参照）。
授業では、学習用Webサイト「airUマイページ」や、Zoom（オンライン会議システム）を使用予定です。

4. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ　各2単位　必		動画視聴および レポート提出			動画視聴および レポート提出							
制作行為原論Ⅰ　2単位　選必								初回提出/中間講評/ 最終提出				
制作行為原論Ⅱ　2単位　選必		初回提出/中間講評/ 最終提出										
書画特論Ⅰ　2単位　必	1日間	1日間	1日間	1日間		1日間	1日間	初回提出/中間講評/最終提出				
書画特論Ⅱ　2単位　必		1日間			1日間		1日間	初回提出/中間講評/最終提出				
書画演習　8単位　必	2日間			2日間			2日間		2日間			
書画研究指導Ⅰ　1単位　必							2日間					

〔2年次〕履修スケジュール例

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
書画研究　8単位　必		2日間			2日間		2日間	2日間				

必 必修科目　選必 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。
※演習・研究科目は、全日程・全講時、Zoomでのリアルタイム出席が必須です。欠席・遅刻・早退は認められません。

学習方法・履修モデル

Q＆A

1 入学全般

Q.1 この大学院は正規の大学院ですか？

A. 本学の大学院芸術研究科（通信教育）は文部科学省に認可された正規の修士課程です。
所定の単位を修得し、修了すれば修士（芸術）または修士（学術）の学位が授与されます。修了後、他の大学院博士後期課程への進学も可能です。学習形態が異なるだけで、研究水準や取得学位は通学課程と何ら変わりはありません。

Q.2 本当に一切通学する必要はないのですか？

A. 本大学院（通信教育）の必修科目では、対面授業はなくすべてオンラインで履修します。
ただし、一部領域で履修可能な研究指導科目と芸術学・文化遺産領域のみ履修可能な「論文研究基礎」を任意で受講する場合は対面開講となり、別途受講料が必要です。

Q.3 学位記や証明書に「通信教育」と入りますか？

A. 学位記および証明書には本研究科の正式名称である「芸術研究科（通信教育）」と表記されます。

Q.4 入学試験はありますか？

A. 出願書類、志願理由・研究計画書やポートフォリオ等の指定提出物により総合的に合否を決定します。書類による選考ですので、大学にて試験を受ける必要はありません。

Q.5 他の学校に通っていますが、入学できますか？

A. 専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校に在籍中の方は入学できますが、大学、短期大学、高等専門学校、大学院に在籍中の方は二重学籍となるため、入学できません。
なお、大学、短期大学、高等専門学校、大学院を中途退学予定の方は、退学日付が2026年4月1日以降の場合は二重学籍となるため、入学できません。

Q.6 本学の科目等履修（学芸員課程）を受講することは可能ですか？

A. 科目等履修（学芸員課程）は受講できません。

Q.7 学部（通信教育部）の科目を受講することは可能ですか？

A. 大学院と学部（通信教育部）は別課程ですので、一部を除き学部（通信教育部）の科目を受講することはできません。大学院は学部で学んだことからさらに専門性を高め、研究・制作を行う課程として位置づけています。

Q.8 複数の領域・分野を併願して出願できますか？

A. 2領域・分野まで併願できます。ただし、指定提出物は出願される分野ごとに必要で、選考後に入学するのは１領域（または分野）のみです。なお、併願料は無料です（7ページ参照）。

Q.9 本学通信教育部（学部）との併願はできますか？

A. できます。ただし、どちらかにしか入学できませんので、学部への出願も検討される方は、大学院の合格発表で結果を確認した後に学部の出願手続きをすることをおすすめします。
なお、学部のWeb出願手続きや出願書類の提出、入学手続金の支払いは別途行う必要があります。また、大学院合格後に入学辞退する場合は所定の手続きが必要となり、選考料・入学金は返還できません。

Q.10 芸術系大学出身ではないのですが、入学できますか？

A. 同分野の学科・専攻の卒業が出願資格というわけではありません。本学の判断基準において選考を行いますので、指定提出物で現在のご自身の力を存分に見せてください。
ただし、日本画・洋画分野においては、基礎技術は修得済みであることが必須です。

Q.11 これまでに他の大学院で修得した単位等を認定してもらうことは可能ですか？

A. 他の大学院で修得した単位の認定は行っておりません。

Q.12 出願の前に、説明会等はありますか？

A. 募集期間にあわせて、オンラインで入学説明会を開催します。説明会では、入学手続きや学び方について等、ご質問、ご相談におこたえします。具体的な開催日程は、本学通信制大学院Web サイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/）で確認してください。

Q.13 入学式・ガイダンスはありますか？

A. 入学式は2026年4月4日（土）に京都瓜生山キャンパスで実施します。参加は任意です。新入生ガイダンス（全領域対象）は入学式後に実施します。領域・分野別のガイダンスも実施します。詳細は入学後にご案内します。

※美術・工芸領域では別日程での新入生ガイダンスを実施する予定です。詳細は入学前にお知らせします。

Q.14 海外在住でも入学できますか？

A. すべてオンラインで履修できますので海外在住でも入学可能です。ただし以下の点にご注意ください。

・本学からのすべての送付物（郵便・宅配便等）の宛先は、日本国内の連絡先（中継先）となります。出願は日本国内での確実な連絡先（中継先）を確保できる方に限ります。出願に必要な証明書等の書類は早めに取り寄せてください。

・授業で使用するテキストや参考文献は日本の書籍となるため、Webで閲覧できるものに加え、ご自身で海外発送対応の書籍通販サイトを利用するか、代理の方に手配を依頼していただく必要が発生する可能性があります。

・Zoomを使用するリアルタイム授業は日本時間での開催です。

・授業で使用する教材・画材はご自身で準備いただく必要があります。日本画の膠、岩絵具等は入手が難しい場合がありますので、入学前に入手可能かご確認ください。

・日本のIPアドレスで接続可能なVPN環境が必要です。

2 学習方法

Q.1 希望する指導教員を決めることはできますか？

A. 各領域・分野ごとに指導教員が決まっています。事前に教員の説明を聞いてご自身の研究・制作目的と適合するか確認するためにも、教員が参加する入学説明会にぜひご参加ください。

Q.2 授業の難易度について教えてください。

A. 大学院で研究・制作を進めるためには、学部卒（学士の学位取得）相当の学力が必要です。出願にあたっては、説明会で説明を受けるなどして、授業内容を理解してください。

Q.3 他領域・分野の科目を受講できますか？

A. 「演習」「研究」「研究指導」科目は、所属する分野の方のみ履修可能です。「分野特論」科目は所属する領域の方のみ履修可能です。専攻共通科目では、領域を越えて興味がある科目を学ぶことができます。

Q.4 事情により学習を続けることが難しくなった場合、休学できますか？

A. 入学2年目以降に1年間を単位とした休学制度があります（年度途中の休学はできません）。在籍年限（4年）内に通算2年まで休学が可能です。休学期間は修業年限には含みませんが、在籍年限には含みます。休学料は1年間20,000円（2025年度実績）で、年間授業料は必要ありません。

Q.5 いつから学習を始められますか？

A. 学習する科目を大学に登録する必要はありませんので、4月1日以降すぐに学習を始めることができます。研究指導科目と芸術学・文化遺産領域のみ履修可能な「論文研究基礎」などは受講申込が必要です。

Q.6 どんな教材がありますか？

A. 学習用Webサイト「airUマイページ」上で閲覧できる「airU学習ガイド」、「大学院ハンドブック」、「シラバス（授業概要）」等があります。また、一部選択科目では各自購入となるテキストがあります。

Q.7 どのように学習をすすめていくのですか？

A. 学習方法全般の解説書であるWeb上の「airU学習ガイド」、「大学院ハンドブック」や「シラバス（授業概要）」をよく読んで、必ず履修しなければならない科目（必修科目）や興味のある科目を選び、修了までの流れを確認し、まずは1年間の計画を立てます。計画を立てたら学習を始めてください。

Q.8 1年次の課題が終わらなければ2年次に進級できないのですか？

A. 本学の大学院（通信教育）では2年次に進むための条件はありませんが、修了研究・制作着手要件があります。修了研究・制作着手の前年度末までに演習科目や共通科目等、指定の単位を修得することと定められています。なお、芸術学・文化遺産領域では入学選考時に個別に修了研究着手要件における追加科目を指定する場合があります。

3 学費

Q.1 学費はどのように支払うのですか？

A. 1年目は入学選考合格後の入学手続き時に、入学手続金（入学金・授業料）を一括でお支払いいただきます（クレジットカードの種類により分割払いを利用できる場合があります）。
2年目以降の授業料は1年次終了前の2月頃に口座引落、クレジットカード決済・ネットバンキング（銀行ネット）決済・ローン利用・ペイジー決済のいずれかの方法でお支払いいただきます。

4 学生生活

Q.1 大学の施設は使えますか？

A. 芸術文化情報センター（図書館）、学生食堂、ラウンジが利用できます。また東京外苑キャンパスでは、開館時間内であればいつでも、参考図書等を閲覧できるライブラリーコーナーを利用することができます。特殊な設備がある実習室は原則として貸出しを行っていません。

Q.2 学割は使えますか？

A. JRの学生割引が利用できます（運賃2割引、片道101km以上）。入学式や学位授与式、スクーリング等の学事に出席する場合に使用できます。個人的な学習や旅行、帰省等でも一定の条件の下で利用できます。その他、美術館、映画等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。

Q.3 就職の相談はできますか？

A. 手続きをすれば、通学部生と同様、キャリアデザインセンターが利用できます（京都瓜生山キャンパス／平日のみ）。個別相談（オンライン／対面）は要予約です。
また、大学専用履歴書のダウンロードや求人票の閲覧、OB/OGの作成したポートフォリオの閲覧が可能です。
なお、利用対象は新卒に相応する方（年齢は修了時に27歳までで勤務経験がない方）です。再就職や転職のあっせんは行っておりません。

Q.4 修了制作展はありますか？

A. 大学として開催するWEB修了制作展に出展できます。（予定）

アクセス

京都瓜生山キャンパス

〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山2-116
最寄のバス停留所：上終町（かみはてちょう）・瓜生山学園 京都芸術大学前

交通機関

1. JR京都駅
- ●市バス5系統／岩倉ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （JR「京都駅」より約50分）

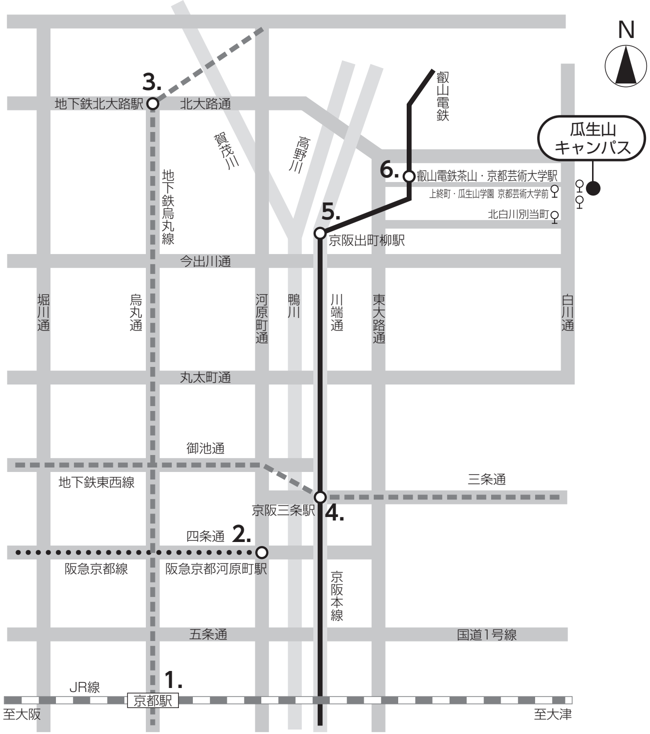
2. 阪急京都河原町駅
- ●市バス5系統／岩倉ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （阪急「京都河原町駅」より約30分）
- ●市バス3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （阪急「京都河原町駅」より約30分）

3. JR京都駅から地下鉄北大路駅
北大路駅下車（JR「京都駅」より約15分）乗り換え
- ●市バス204系統循環／高野・銀閣寺ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （地下鉄「北大路駅」より約15分）

4. 京阪三条駅
- ●市バス5系統／岩倉ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （京阪「三条駅」より約20分）

5. 京阪出町柳駅
- ●市バス3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前ゆき
  ［上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前］下車
  （京阪「出町柳駅」より約15分）

6. 叡山電鉄茶山・京都芸術大学駅
- ●京阪「出町柳駅」で乗り換え、
  叡山電鉄「茶山・京都芸術大学駅」下車徒歩約10分



※2025年8月現在の交通機関、駅、停留所です。
※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますので、注意してください。
※本学には駐車場がありません。自動車、バイクでの通学はできません。

大学院（通信教育）お問い合わせ先
通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

●出願書類を提出する前
フリーダイヤル 0120-20-9141
月〜土／10:00〜16:00〈日祝休、12月28日〜1月6日休〉

●出願書類を提出した後
Tel.075-791-9988
［開設期間　2026年1月14日〜3月31日］月〜土／10:00〜16:00〈日祝休〉

書式「封筒貼付用宛名シート」
提出書類について長3サイズ封筒（任意のものでも可）に
以下「封筒貼付け用宛名シート」をコピーしてご使用いただけます。

速　達

郵送の場合
切　手
貼　付

606 8271

〒606-8271
京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都芸術大学

大学院 芸術研究科（通信教育）芸術専攻修士課程
アドミッション・オフィス　願書受付係　行

簡易書留速達　（2026年度出願書類在中）

住　所	〒　　　－								
氏　名	フリガナ								
電話番号									
該当者のみ チェック☑を記入	□ 入学資格審査理由書を同封している								
出願番号（第一希望）									
該当者のみ記入 併願の場合 出願番号（第二希望）									

	提出書類の名称	チェック
必須	出願資格証明書（成績証明書および卒業証明書等）	
該当者のみ	氏名を確認できる公的な書類（戸籍抄本等）	
	パスポートのコピーと在留資格証明書	

出願期間　2026年1月14日（水）～2月18日（水）［必着］